

公演報告：N響ヨーロッパ公演2020 in アムステルダム

ツアーも終盤を迎える3月2日、世界最高峰のオーケストラの1つ、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の本拠地であるコンサートヘボウで、パーヴォ・ヤルヴィ指揮によるアムステルダム公演を行いました。

ホールの響きの美しさでも知られる、この世界屈指の名門ホールで、武満徹《ハウ・スロー・ザ・ウインド》、シューマン《チェロ協奏曲》、ラフマニノフ《交響曲 第2番》を演奏。

タリン、ロンドン、ケルン、ドルトムントの4都市で共演を重ねてきた、チェロ独奏のソル・ガベッタとは今回のアムステルダム公演がツアー最後の共演となりました。

(今年7月17日には東京で、N響と再び共演が実現することが決まりました!)

演奏終了後の客席では、拍手と歓声の中、指笛が吹き鳴らされ、スタンディングオベーションが起こるなど、大きく盛り上がりました。

N響ヨーロッパ公演2020 アムステルダム公演

2020年3月2日(土) 8:15 pm～

コンサートヘボウ

指揮：パーヴォ・ヤルヴィ

チェロ：ソル・ガベッタ

武満 徹／ハウ・スロー・ザ・ウインド(1991)

シューマン／チェロ協奏曲 イ短調 作品129

ラフマニノフ／交響曲 第2番 ホ短調 作品27



撮影: Eduardus Lee (公演写真)